

日本光学会平成 12 年度第 3 回常任幹事会議事録

日 時：平成 13 年（2001）3 月 15 日（金）

13：30～17：25

場 所：機械振興会館地下 3 階 2 号室

出席者：岩田幹事長，以下 18 名

議 事：

1. 前回幹事会議事録に関する質問事項

前回議事録に関する質問等はなく，議事録は承認された。

2. 報告事項

2-1. 編集委員会報告

(1) 「光学」編集委員会報告

- ・「光学」第 30 巻の第 1 号の発行が遅れた。原稿の取り忘れ，ならびに年末年始の休暇のため。今後，最終的な督促等の編集業務をどこがやるのか，見直し等が必要と考えている。
- ・50 周年記念号は，ほぼ企画がまとまった。5 月の編集委員会に企画案を提出する。CD-ROM は本誌とは別の作業として行い，現在は見積もり等を得るための見本部分を委員会で作成中。

(2) 「OPTICAL REVIEW」編集委員会報告

- ・「OPTICAL REVIEW」は順調に発刊している。

2-2. 講演会関連報告

(1) ICOSN 2001 進捗報告

- ・SPIE からの Authors kit の送付が遅れたため，Manuscript の受領ならびに，Author の registration が遅れている。
- ・特設展示への出展企業が減ったため，法人登録の勧誘をお願いしたい。

(2) 光学シンポジウム進捗報告

- ・プログラムを決定した。今後，会誌，ホームページ等で開示する。
- ・早期申込者割引申込用のホームページを作成し，4 月 1 日から 5 月 22 日まで受付を行う。

(3) Optics Japan 2001 進捗報告

- ・アンケートを行い，50 周年記念のシンポジウムとして，海外からの招待講演者に，各国での光学関係の今後の戦略等について講演してもらうことになった。日本光学会としても講演することが必要との意見があった。また，光学会側の講演も英語で行うことが必要との意見があった。

- ・スペシャルセッションとして光学会外からの招待講演を予定している。公募型シンポジウムとしては，各研究グループに提案を依頼している。

- ・光学 50 周年記念号に対しては，編集スケジュールの関係から，OJ 2001 のサマリーを載せる案が提案された。本誌への掲載量は多くできないが，CD-ROM への掲載は余裕がある。

(4) サマーセミナー進捗報告

- ・セミナーのテーマを“IT を支える光技術”とした。
- ・開催場所は，関西からの交通の便等を考慮して浜名湖三ヶ日温泉「簡保の宿三ヶ日」とした。
- ・参加費に協賛学会会員枠を新たに設けた。

(5) 冬期講習会結果報告

- ・1 月 15，16 日に東大生研で開催され，参加者 115 名と盛況のうちに終了した。
- ・参加者が予算案作成時に比べ，学生会員が減少したが，一般会員等の参加者が 1.5～2 倍となった。
- ・テーマや内容に関するアンケート結果もおおむね良好であった。
- ・次の開催会場として，東大生研が借りられないため，山上会館を 2002 年 1 月 21，22 日で予約した。

2-3. その他報告事項

(1) 研究グループ活動報告

- ・計 10 グループから平成 12 年度の活動報告ならびに収支決算報告があった。また，9 グループから平成 13 年度の事業計画と収支予算案が提出された。
- ・位相共役・光波ミキシング研究グループは発展的に解消し，光波シンセシス研究グループとして継続する。

(2) 協賛依頼

6 件の協賛依頼があった。

(3) 会員動静

個人会員数は 1 月末に比べ，A，B 会員ともに微増となり，特別会員は減少となった。

(4) 日本光学会平成 13（2001）年度スケジュール

平成 13 年度のスケジュールが提出された。会場予約の都合があり，幹事会の開催場所は完全には固定していない。担当，日付等の誤記を訂正後，改めて配布する。

(5) ICO Topical Meeting について

- ・日本光学会が主催を検討している 2004 年の ICO Topical Meeting は，小規模になる可能性があるとの情報がもたらされた（2005 年の ICO 総会のアジア（日本外）

開催が濃厚になってきたため)。

- ・ICO 加盟に伴い、今後 ICO から送られてくる資料の「光学」への挟み込み等で経費が増加する可能性があることが、報告された。

3. 審議事項

(1) 「光学」の編集予算について

- ・ICO のニュースレターやその他の資料の挟み込みや、「光学」の査読者 2 名制に伴う編集費用の増大、ならびに編集作業の最終責任等を明確化するための編集局と編集委員会の分担の見直し(経費増を含む)について検討することが申請され、承認された。案がまとまった段階で、再度審議する。
- ・50 周年記念号の出版に際し、通常号よりも割増になる分の編集、印刷費の増大、ならびに、CD 製作のための費用を、必要経費として次期予算案に組み込むことが承認された。

(2) 韓国光学会との協定

- ・韓国光学会と日本光学会との協定締結に関して、韓国光学会の概要説明があり、協定書案が提示された。
- ・質疑の結果、協定締結については異論は上がらなかった。
- ・協定書の“互いの論文誌を会員価格で購読できる”との項目について、現状では、提供できないとの意見があった。
- ・協定書にある互いのメーリングリストの交換等は、プライバシー保護の観点から受け入れられないとの意見があった。
- ・協定書は、幹事会での意見を元に修正したものを韓国光学会に提案し、受け入れられれば、第 1 期の協定を結ぶ。第 1 期の協定の期間は、本年中也しくは、2002 年 1 月から 2003 年 12 月末で提案する。署名者は、幹事長と国際協力幹事とする。
- ・削除した項については、応物学会とも協議し、協定の改訂までに結論を出すことになった。

(3) 総会資料(事業報告、会計報告)について

- ・前回幹事会で修正後に承認をうけた平成 12 年度事業報告/平成 13 年度事業計画(案)(修正済み資料)が再提示された。
- ・平成 12 年度収支決算が提示され、応用物理学会からの依頼により、内部留保金の取り扱いを変更したため、今年度収支は赤字となるが、全体としては、黒字となることが報告された。
- ・質疑の後、会計報告は承認された。

(4) 国際協力支援金規程(案)

- ・国際協力支援金の規程(案)が提案され、申請時期を 4,8,12 月末に訂正後、承認された。

(5) 日本光学奨励賞の審査について

- ・平成 13 年度の日本光学会奨励賞の審査は、一岡 OPTICAL REVIEW 編集委員長を代表とし、他 7 名の選考委員を幹事長と協議の上、一岡代表と幹事長に一任で選出することが承認された。

(6) 人事公募記事について

- ・「光学」の news 欄に私企業の研究所からの人事公募掲載の依頼があったが、掲載基準が不明確なために許可できなかったため、今後の対応のための基準作成(掲載の可否、掲載料)の提案があった。
- ・他学会を調査した結果では、私企業の公募に掲載している学会は少なかった。またほとんどの学会は、官公庁の公募にしても掲載料を取っていた。
- ・応用物理学会は私企業の掲載は不可で、その他の公募については無料であった。
- ・研究者の流動化の見地からも、賛助会社等については掲載を認めるべきとの意見もあったが、光学会が応用物理学会の分科会である立場から、掲載の是非について、応用物理学会の理事会等で確認することになった。

(7) Web からの参加申込みについて

- ・各事業(OJ や光学シンポジウム等)における、Web による講演申込について、サーバーを各事業担当ではなく、光学会として運用し、各委員の負担を軽減する方式として、J-STAGE(科学技術事業団)のシステムの利用が提案され、OJ 2001 での利用が承認された。

(8) ホームページの活動マニュアル

- ・今後のホームページの運用方法についてのマニュアルの提案があった。
- ・NACSIS から応物へのホームページの移動に伴い、移行用のサーバーでの内容等の確認を各幹事で行い、メール等で意見を出すことが承認された。

(9) 役員選挙内規について

幹事選挙の内規を実際のスケジュールに合わせた変更案が提示された。変更案については、次回幹事会で検討する。

次回幹事会は、5 月 10 日(木) 13:30～ 機械振興会館

日本光学会第 163 回幹事会

2001 年 5 月 10 日(木)に機械振興会館において開催されました。「光学」「OR」編集委員会報告、50 周年記念号報告、ICOSN 2001、光学シンポジウム、3 次元画像コンファレンス、サマーセミナー、Optics Japan 2001、冬期講

習会等の講演会関連の報告、光学論文賞募集要項・審査委員、入会のしおりの改訂、OSK との協定、幹事選考規定の見直し、光学五学会関西支部連合講演会への分担金の見直しなどに関する審議がなされました。なお、詳しい幹事会議事録は第 30 巻第 9 号に掲載予定です。

日本光学会奨励賞選考委員

平成 12 年度第 3 回常任委員会において日本光学会奨励賞選考委員案が提出され、下記のように決定いたしました。

委員長 一岡 芳樹 (奈良工専)
副委員長 堀 裕和 (山梨大)
委員 阿山みよし (宇都宮大)
岩井 俊昭 (北海道大)
志村 努 (東京大)
岡田 佳子 (電気通信大)
中川 清 (神戸大)

平成 13 年度光学論文賞選考委員会

平成 13 年度光学論文賞の選考委員会は、下記の方々に決定しました。

委員長 岩田 耕一 (大阪府立大)
委員 小野 雄三 (立命館大)
塩入 諭 (千葉大)
中沢 正隆 (東北大)
谷田 純 (大阪大)
宮永 滋己 (室蘭工大)

平成 13 年度光学論文賞受賞候補者の募集

応用物理学会では光学の分野における優秀論文の著者に対し、下記のごとく光学論文賞を贈っています。本論文賞は 42 年の歴史をもち、光学奨励賞とともに日本光学会の活動度を示す重要な指標の役目を果たしております。光学論文賞規定については本号 484 頁をご覧ください。平成 7 年度からの光学論文賞規定の改訂により、光学論文賞は公募に応じた自薦、他薦の候補者から選考されます。奮ってご推薦ください。

受賞対象者：原則として表彰の年に満 40 歳未満の日本光学会会員あるいは応用物理学会会員であり、本年 9 月末日までの 1 年間に発行された学術刊行物に発表された光学に関する原著論文の第 1 著者。詳細は光学論文賞規定をご覧ください。

提出書類：候補者の氏名、会員番号、生年月日、満年齢(公募締切日における)、勤務先、勤務先所在地、自宅

住所、連絡先、推薦理由(自薦他薦を問わず、論文の特徴、すぐれた点等を 400 字程度でわかりやすく記す)、候補論文別刷 6 部(コピー可、関連論文があれば 2 編以内でそれらの別刷またはコピーを 1 編につき 6 部ずつ添付)、他薦の場合は推薦者の氏名、勤務先、勤務先所在地、連絡先。

書類提出期限：平成 13 年 10 月 31 日(水) 必着

提出先：日本光学会庶務幹事 塩川孝紳

〒174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

旭光学工業(株)研究開発部

電話 03-3960-7179 Fax 03-5392-2049

E-mail: t.shiokawa@aoc.pentax.co.jp

結果は「光学」第 31 巻第 3 号において発表されます。

平成 13 年度第 1 回「光学」編集委員会

2001 年 5 月 9 日(水)に(財)日本学会事務センター会議室において開催されました。第 30 巻第 12 号および 31 巻 1 号企画、第 31 巻 2 号～31 巻 3 号および 31 巻 5 号構想案について審議が行われました。また、日本光学会 50 周年記念号(31 巻 4 号)企画、編集業務見直し、光学ホームページ、「講義」編集業務について審議がなされました。そのほか、論文投稿・審査状況、各号進捗状況、会計等について報告がなされました。

平成 13 年度光科学及び光技術調査委員

平成 13 年度光科学及び光技術調査委員は次の方々に決定しました。

委員長 尾松孝茂(千葉大工)

委員長(関西) 谷田 純(大阪大学)

委員

井出昌史(シチズン時計) 原田建二(筑波大)

今宿 互(NTT) 小田 功(木更津工専)

小尾高史(東工大) 笠松直史(日本電気)

上窪淳二(旭光学) 菊池啓記(ソニー)

樺田英之(上智大) 清水賀代(早稲田大)

藤川知栄美(東京工芸大) 関根義之(キャノン)

高田英行(産総研) 山本 剛(日立)

林 真市(オリンパス) 尾藤洋一(産総研)

松本一紀(東芝) 古川祐光(産総研)

上田 健(リコー) 塚田由紀(交通安全公害研)

的場 修(東京大) 川崎和彦(ミットヨ)

委員(関西)

大和祐一郎(ミノルタ) 佐藤 晃(島津製作所)

篠田博之 (立命館大)	田中拓男 (大阪大)
田和圭子 (産総所)	似内映之 (和歌山大)
橋本 守 (大阪大)	早崎芳夫 (徳島大)
宮崎大介 (大阪市立大)	柳生栄治 (三菱電機)
山本博昭 (松下電器)	吉田慎也 (シャープ)

- 2) 強誘電性液晶の応用展開
浅尾恭史 (キヤノン)
- 3) リライタブルペーパー (仮題)
筒井恭治 (リコー)
- 4) 有機ホログラム (仮題)
和田達夫 (理研)
- 5) 有機空間光変調素子 (仮題)
谷田貝豊彦 (筑波大)
- 6) 有機半導体レーザー
谷口彬雄 (信州大学)
- 7) 伝導性液晶
半那純一 (東工大)
- 8) 有機系における光誘起相転移
石田邦夫 (東芝)

その他、液晶・有機 EL 関係の講演を数件予定。

参加費： 一般 4,000 円，学生 1,000 円 (資料代を含む)

当日ご持参ください。

参加申込： 不要 (直接会場にお越しください)

問合せ先： 職業能力開発総合大学校電子工学科

河合 滋

電話/FAX 042-763-9199

E-mail: skawai@uitec.ac.jp

プログラムは、微小光学研究グループのホームページ (<http://www.din.or.jp/~microopt/>) でもご覧いただけます。

日本光学会第 35 回サマーセミナー

日本光学会主催の第 35 回サマーセミナーを 2001 年 8 月 30 日 (木)～9 月 1 日 (土) にかんぽの宿浜名湖三ヶ日温泉にて開催いたします。今回は「IT を支える光技術」をテーマに、IP ネットワークと光学技術について考えます。またナイトセッションでは、デモや展示などで参加者の皆さんがお互いに議論できる時間を設けています。皆様の奮っての参加をお願いします。なお、詳細は、本号の綴じ込み案内をご参照ください。

第 81 回微小光学研究会

テーマ： 有機微小光学

日 時： 2001 年 9 月 5 日 (水) 10:30～

場 所： 東工大すずかけ台キャンパス総合研究館大会議室 (横浜市緑区長津田町 4259)

交 通： 東急田園都市線すずかけ台駅下車徒歩 5 分

主 催： 応用物理学会日本光学会微小光学研究グループ
プログラム：

- 1) 強誘電性液晶を用いたフレキシブル表示素子
藤掛英夫ほか (NHK)

日本光学会 *news* の掲載申込み先：

〒226-8502 横浜市緑区長津田町 4259 番地 東京工業大学大学院総合理工学研究科電子機能システム専攻 伊藤治彦 電話 045-924-5459 Fax 045-924-5588 E-mail: ito@ae.titech.ac.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日 (10 日) から 2 か月前の 15 日まで、開催日が 1～10 日の場合は、開催日の 3 か月前の 15 日までをお願いします。

日 本 光 学 会 平 成 13 年 度 幹 事 (*常任幹事)

幹 事 長 :	岩田 耕一* (大阪府立大)	
副幹事長 :	中楯 末三* (東京工芸大)	
前幹事長 :	山口 一郎 (理研)	
庶務幹事 :	大谷 幸利* (農工大)	塩川 孝紳* (旭光学)
	門野 博史* (埼玉大)	大瀧 達朗* (ニコン)
	中野 隆志* (産総研)	竹ノ内弘和* (NTT)
	伊藤 治彦* (東工大)	中井 武彦* (キャノン)
『光学』編集幹事 :	堀 裕和* (山梨大)	岩井 俊昭 (北大)
	尾松 孝茂 (千葉大)	谷田 純 (阪大)
『OPTICAL REVIEW』編集・出版幹事 :	一岡 芳樹* (奈良高専)	山口 一郎 (理研)
国際協力幹事 :	高橋 信明 (防衛大)	石井 行弘 (能開大)
将来問題担当幹事 :	山本 公明 (オリンパス)	黒川 隆志 (農工大)
	中島 啓幾 (早大)	
企画・事業担当幹事 :	山田 秀則 (富士ゼロックス)	野崎 昭俊 (コニカ)
	高梨 健一 (リコー)	木村 茂治 (日立)
	橋本 信幸 (シチズン時計)	岩瀬扶佐子 (古河電工)
	森 峰生 (鈴鹿医療科学大)	志村 啓 (東芝)
	相津 佳永 (室蘭工大)	佐藤 学 (山形大)
	大高 真人 (福井大)	藤原 巧 (長岡技科大)
	栗村 直 (分子科学研)	塩野 照弘 (松下電器)
	早崎 芳夫 (徳島大)	森 邦彦 (鹿児島大)
